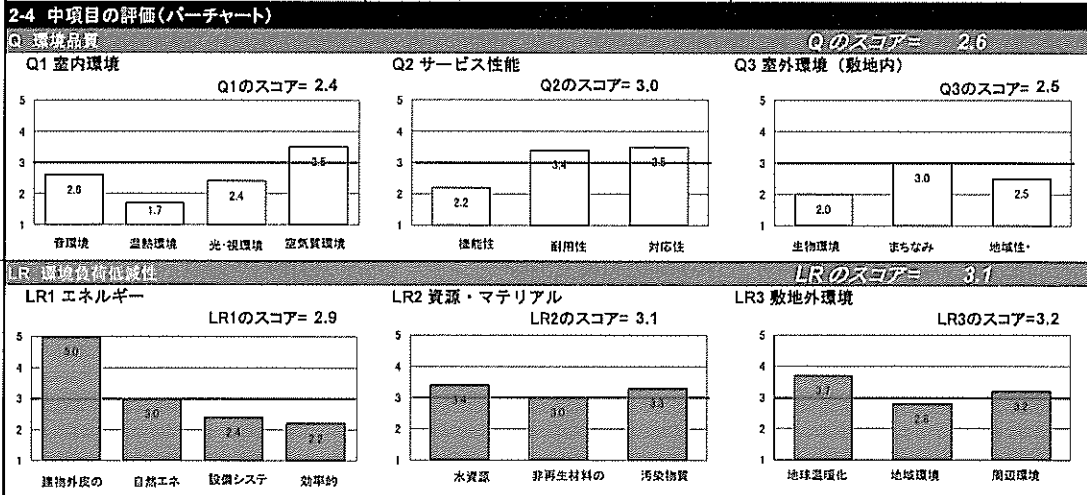
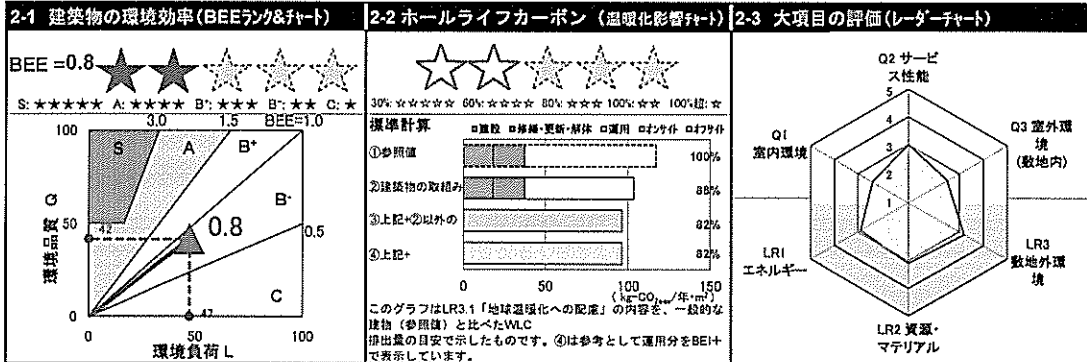


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大山崎町複合化施設新築工事	階数	地上3F
建設地	京都府乙訓郡大山崎町宇内明寺小学夏目26番、3番の一部	構造	S造
用途地域	第二種住居・防火地域指定なし	平均居住人員	355 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2026年04月30日
敷地面積	4,662 m ²	作成者	小川 龍二
建築面積	1,462 m ²	確認日	2026年05月18日
延床面積	3,550 m ²	確認者	前川 光



3 設計上の配慮事項		
Q1 室内環境 JIS・JAS規格のF★★★★をほぼ全面的に採用している。建築物衛生法を満たす換気量1.4倍以上となっている。図書室部分:自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。階高3.9m以上。0.1≦[壁長さ比率]<0.3。ケーブルラック、配管内配線、二重天井内により構造材・仕上材を痛めず更新・修繕ができる。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI=0.64	LR2 資源・マテリアル 節水コマと節水機能などに加えて、節水型便器も採用している。LGS使用している。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率82% 光害対策ガイドラインの全項目に適合している。なお、広告物照明は設置していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される